



はるにれ寄席



12月4日、える夢館で平成26年度豊頃町文化芸術鑑賞事業『はるにれ寄席（町教育委員会主催・公益財団法人北海道文化財団共催）』が行われ、約220人の観客が詰めかけました。真打の柳家三語楼さんと柳亭左龍さんが江戸っ子のそば屋話などを披露した後、若手漫才コンビ『ロケット団』の2人による漫才が行われ、笑いを誘っていました。最後に、林家正蔵さんが高座に上り、経済事情などを面白おかしく語り会場を沸かせました。

全国報徳サミット豊頃町大会開催決定



昨年もわかの11月28日から29日にかけて、栃木県真岡市において、全国報徳市町村協議会総会、第20回全国報徳サミット真岡市大会が開催され、宮口町長、小野木会議議長らが出席しました。28日の総会では、今年もわかの10月10日に全国報徳サミットが豊頃町で開催されることが決定されたほか、加盟17市町村による災害時の職員派遣や物資支援などを盛り込んだ『災害時相互応援協定』の締結式が行われました。29日のサミットでは、地元の子供ミュージカルグループによる、二宮尊徳が桜町仕法時に行った成田山での断食祈願のエピソード『二宮様は今どこに?!』が公演されたほか、加盟市町村長らによる『報徳仕法をいかした、ひとづくり・まちづくり』をテーマにパネルディスカッションが行われました。大会の最後に今年度開催地である真岡市長から、次年度開催地の宮口町長へ二宮金次郎像が引継がれました。

親子でもちつき



12月6日、茂岩保育所で毎年恒例の『もちつきかい』が行われ、大勢の親子が集まりました。子どもたちは小さなきねを握りしめ、元気いっぱいもちつきを楽しんでいました。また、父母らが大きなきねで勢よくもちをつくと、見ていた子どもたちからは歓声が上がっていました。もちがつきあがると、親子であんこを詰めて、あんころもちを作ったり、ごまだれやきなこ、砂糖醤油を付けたりして、食べました。自分たちが作ったつきたての餅を食べた子どもたちからは、笑みがこぼれていました。

夜空を彩るイルミネーション



12月1日、ポケットパークもいわでイルミネーション点灯式（町商工会茂岩支部主催）が行われ、集まった子どもたちは高さ8メートルを越すツリータワーがライトアップされると大きな歓声を上げていました。点灯式では、茂岩保育所の子どもたちが声を合わせてカウントダウンを行い、スイッチオンとともに暗闇に色とりどりの光が鮮やかに浮かび上がりました。また12月5日、JR豊頃駅前でもイルミネーション点灯式が行われ、飾り付けられた街路樹が通りを美しく照らしています。

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

▽はるにれは見ていた
広報とよころ

▽はるにれは見ていた
役場だより

▽はるにれは見ていた
役場だより

牛首別報徳会だより



牛首別報徳会（佐藤安会長）がこのほど、牛首別報徳会だよりを発行しました。記念すべき第一号は11月28日から29日にかけて栃木県真岡市で開催された『第20回全国報徳サミット真岡市大会』に参加したときの内容です。今後も行事などに合わせ随時発行予定とのことです。

新水槽車お披露目



豊頃消防署に新しい水槽車が配置されました。12月10日にお披露目され、水槽車を使った消火訓練も行われました。仕様は下記のとおりです。
10 t 水槽車（小型動力ポンプ付）
全長：902 m
幅：249 m
高さ：314 m
車両総重量：21,620kg
排気量：8,860cc
燃料：軽油

佐竹さんが瑞宝単光章受章



平成26年秋の叙勲で、元豊頃消防団副団長、佐竹忠信さんが瑞宝単光章を受章しました。佐竹さんは、昭和44年に豊頃消防団に入団。41年余りの長きにわたり適切な組織運営と時代に即応した消防施設の整備強化を図るとともに、火災予防活動を積極的に展開し、地域住民の防火思想の啓発に尽力されました。12月18日、伝達式が役場応接室で行われ、十勝総合振興局の奥山芳博副局長から、伝達されました。

夏野先生に学校保健功労表彰



町立歯科診療所の夏野伸一所長が、公益財団法人北海道学校保健会から学校保健功労者表彰を受賞しました。夏野所長は、学校歯科医として平成3年2月より従事し、児童・生徒の歯科健診、虫歯などの歯の疾病の予防措置など、歯科衛生の向上に貢献されています。また、近年はフッ化物洗口による虫歯予防を積極的に推進し、特に大津小学校では保護者で構成する『子どもの歯を守る会』と連携し、フッ化物洗口を平成15年から実施、平成23年から全児童の虫歯ゼロが続いています。12月8日、役場応接室で伝達式が行われ、宮口町長から、表彰楯が手渡されました。

今年も大盛況！大漁まつり



12月7日、大津漁協の荷さばき所で、第10回大津港大漁まつり（前川啓一実行委員長、豊頃町・浦幌町・大津地域マリビジョン協議会協賛）が開催され、新鮮な海の幸を求めて、約3,500人の買い物客が訪れました。当日は好天に恵まれ、秋サケやマツカワ、シシャモ、毛ガニ、ホッキ、ツブなど大津産の魚介類を求めて多くの買い物客が売り場に詰めかけ、飛ぶように売っていました。また、秋サケ、シシャモ、カジカの鍋や、甘酒が無料で振る舞われ、シシャモの試食コーナーも設けられるなど、訪れた買い物客の舌を楽しませていました。

